

クモは困ったものです。無許可でいたるところに巣をはり、本堂を汚し、掃除の手間を増やしてくれます。そんなクモを研究した本がありました。その本によるとクモは、それぞれの目的にあった7種類の糸を使いわけ、巣を作っているそうです。その中で粘着性があるのは横糸であり、縦糸には粘着性がないのです。クモは8本の足をうまく縦糸の上にだけ置いて移動します。クモが自分の作った巣にからまることのないわけが、やっと分かりました。クモが移動するとき腹から出す糸は丈夫で弾力性に富み、防弾チョッキを作る素材として、これ以上の物はないとも書いてありました。まさにクモ、恐るべしです。

クモを通して、どんな小さな虫にも私達以上の能力があるということを再認識しました。このことは、阿弥陀経の「青き色には青き光、黄なる色には黄なる光、赤き色には赤き光、白き色には白き光」という教え、すべてのものがそれぞれの色で輝いているという教えにもつながります。

私は、3年前まで小中学校の教員をしていました。その生活を振り返る時、子供達にたくさんの競争をさせてきたことが思い出されます。教育効果を上げようと、テストの点数や活動の成果を競争させてきました。競争は確かに効果がありました。しかし、競争の後、その成果にもかかわらず充実が感じられません。子供達の個性と心の豊かさを犠牲にしてきたような気がしてならないのです。

現在、あらゆる所に競争原理が導入され、競争が生活を支えています。しかし、それに安住していいのかとお釈迦様は問いかけておられるのではないのでしょうか。